

厚生労働省 平成19年度 障害者保健福祉推進事業（障害者自立支援調査研究プロジェクト）
社団法人日本精神神経科診療所協会

1. 事業実施計画

事業名「精神科診療所に通院する以外に社会参加していない精神障害者の実態調査及び精神科診療所の社会参加サポート機能を強化するための研究」

事業実施予定期間「平成19年9月1日 から 平成20年3月31日 まで」

事業の概要

外来精神障害者は200万を超え、半数以上は診療所に通院している。外来患者の中には就労も、就学も、通所もしていない精神障害者が膨大にいる。統合失調症に限定しても30万を超えていると推計される。それらの社会参加できていない者には、まず通院医療機関が社会復帰施設に繋ぐ等のサポートを行うしかない。それにはデイケア、ショートケア、訪問看護、往診、等の既存のサービスの積極的活用と併せてケースワーク的サポートが必要である。外来患者の社会参加状況等の実態調査、サポートに必要な条件、サポート試行と効果評価を行う。

事業の具体的内容

1) 精神科診療所通院患者の日中活動及び、診療所における社会参加サポートの実態調査

全国の日本精神神経科診療所協会会員診療所1400件余りのうち400件をランダム抽出し、1ヶ月の通院実患者数、病名、年代、性別、ある週の任意の日一日に受診した患者の全員について、性別、年齢、病名、病歴、生活形態（独居、家族同居、施設入所など）、日中活動（就労、デイケア、通所など）、診療所におけるサポート、診療所のケースワーク活動実態として、全スタッフ一人一人の職種、1週間の勤務時間、そのうちケースワークにかけている時間と内容、ケースワークのためのスタッフがいたら行いたい患者のサポート内容などを調査する。

さらに16診療所程度を抽出し、外来滞留群（本人が就労・就学・通所していない）のうち統合失調症の患者160人程度について、性別、年齢、病歴、現在の病状、生活形態、日中活動、生活支援者、生活能力、社会参加能力、受けているサポート、必要と思われるサポートなどを調査し、必要なサポート方法や分量や条件を明らかにする。

2) 診療所における社会参加サポートの試行

調査対象診療所のうち、通院患者の社会参加サポートを行いたくても人的な余力がなくて行えていない診療所を8箇所程度選び、ケースワークを行うスタッフを派遣し、医師の指示の下でサポート業務についてもらう。業務としては、外来場面での相談、訪問看護またはそれに準ずる訪問や外出援助、社会復帰施設やハローワークへの繋ぎ、企業や学校との連携などが考えられる。派遣の前後を比較して、社会参加サポートの変化を見る。併せて、対象となる患者やその家族のニーズや満足度を調査する。また、同じ診療所でケースワークスタッフによるサポートを行わずに社会参加を促した事例の社会参加の経過を調査し、比較する。

3) 診療所における社会参加サポートのモデル提示と効果評価

実態調査とサポートの試行の結果から、サポートを行うことにより社会復帰施設の利用や就労等の社会参加に繋がる率、施設通所や就労の継続率がどの程度高まるかを評価したい。本人の満足度や家族の負

担感の変化などをアンケートにて評価する。また、精神科診療所が通院患者の社会参加サポートを効果的に行うために必要な人的配置、費用、サポート方法等を明らかにする。

事業の効果及び活用方法

これまで把握されていなかった、通院のみで社会参加していない精神障害者の実態を明らかにすることができる。

それらの精神障害者の社会参加の可能性やニーズを明らかにして、精神科診療所ができるサポート方法を明らかにする。

地域で最も数の多い社会資源である精神科診療所が、それらの精神障害者の社会参加をサポートする機能を向上させることにより、社会復帰施設の有効活用や、就労支援の促進に繋がることが期待される。

2. 調査事業計画書

調査名 「精神科診療所通院患者の日中活動及び、診療所における社会参加サポートの実態調査」

調査対象地区 全般調査・・・全国の日精診会員
事例調査・・・大都市、大都市近郊、地方都市、それ以外各4カ所

調査対象者等 全般調査・・・精神科診療所
事例調査・・・精神科診療所職員、通院患者及びその家族

悉皆・抽出の別 抽出

調査方法

全般調査・・・郵送による調査票の配布、郵送による回収
事例調査・・・郵送による調査表の配布、調査員が訪問回収

調査客体数 全般調査・・・合計400診療所
事例調査・・・合計160事例

調査内容

1ヶ月に通院する精神科外来患者と、病名、病歴等

ある特定日に外来受診した患者の病名、病歴、生活形態、生活能力、日中活動状況、ケースワークサポートの必要性など

職員の日常ケースワークの時間とその内容など

サポートの人的体制と費用、サポートの頻度や方法、対象者の概要とサポートの内容、本人や家族の満足度と要望など

調査時期 平成19年10月～平成20年2月

調査結果の主要集計項目

・精神科診療所へ通院する以外に、就労・就学あるいは社会復帰施設への通所をしていない患者の推計人数と疾病構成、生活実態

・精神科診療所が、現在ケースワークで社会参加のサポートをしている業務量、患者の推計人数とその

サポート内容内訳

- ・社会参加サポートが必要と思われる患者の数とサポート内容内訳
- ・社会参加サポートを受けている患者及びその家族の満足度
- ・精神科診療所で社会参加サポートをした場合の経済的価値
- ・社会参加サポートにかかる労力や費用のコスト見積もり
- ・通院患者の社会参加サポートを効果的に行っている診療所とそうではない診療所の人的体制や備えている条件の違い

調査結果の活用法

- ・これまで注目されてこなかった精神科診療所へ通院する以外に、社会参加していない患者の実態を明らかにすることができる
- ・精神科診療所においてケースワーク等でサポートすることにより、社会参加を促すプログラムモデルを示すことができる
- ・その社会参加サポートを行うためのコストと社会的ベネフィットを計算することができる

その他参考事項